

平成31年度 岡崎市立額田中学校 部活動に係る活動方針

1 本校の現状

- ・部活動を楽しみにしている生徒が多く、保護者の理解を得ながら活動する。
- ・最終下校時刻は日没30分前で月別に決定し、遅くとも18時10分とする。
- ・全員参加制を原則とし、教職員は「生徒を育てる」部活動経営を行う。

2 本校における課題

- ・学区が広く、保護者送迎で部活動に参加している生徒がいる。
- ・練習試合や大会は保護者送迎を依頼し、保護者の協力を依存している。
- ・小規模中学校で、生徒数、教職員数が少なく、生徒数に対して部活動の数が多くなり限界にきている。

3 具体的な活動方針

(1) 部活動運営について

- ・学校は適切な部活動運営を組織的に行うため指導・運営体制を整備している。
- ・校長は部活動の目標等を策定し、「生きる力」を育成する部活動を運営する。
- ・顧問は、生徒の自主性、社会性を育成する部活動経営をする。

(2) 活動量（休養日や活動時間等）について

ア 平日

- ・活動日は、週4日以内とする。原則、金曜日は活動しない。
- ・活動時間は、2時間以内とする。
- ・始業前は活動しない。ただし小中体連主催の大会前1週間は活動可とする。

イ 休日（週休日及び祝日）

- ・土日のいずれかは、原則「休業日」とし、両日ともに練習日としない。
- ・毎月「第3日曜日〈家庭の日〉」は原則、年間を通して「休業日」とする。
- ・活動時間は3時間程度とし、長時間〔終日〕練習はしない。

ウ 長期休業中

- ・土日については、原則活動をしない。
- ・活動時間は3時間程度とし、長時間〔終日〕練習はしない。

4 その他

(1) 保護者及び地域との連携

- ・保護者からの理解を得るために、年間及び月間等の活動計画を作成する。

(2) 安全の確保と緊急時の対応

- ・活動場所の施設、設備、道具について安全点検を実施し事故防止に努める。
- ・熱中症を予防するためにWBGT値に留意し、生徒の健康管理を徹底する。
※WBGTとは、湿球黒球温度の略。人体の熱収支に影響の大きい湿度、放射熱、気温の三つを採り入れた指標。高温の下での作業やスポーツなどの時、暑さや熱による障害を防ぐために使われる。この値が大きい場合、仕事やスポーツを休止することが望ましい。
- ・緊急の事態や不測の事態に対処できるように、顧問不在の中で活動しない。
- ・事故が発生した場合には、速やかに管理職、顧問で事故原因を分析する。